

## 第24回 DAAS運営委員会

□日 時：2013年7月24日（水） 10:30～12:00(予定)

□場 所：ソーシャルインキュベーションオフィスSUMIDA セミナー室

〒100-0014 東京都墨田区本所 3-15-5 1階

Tel: 050-3786-0568

□議 案：

### [報告事項]

国土交通省営繕部の資料収蔵について <資料 1>

### [承認事項]

Webコンテンツ作成事業について <資料 2>

アーカイブサービスについて <資料 3>

### [検討事項]

運営基盤安定化について <資料 4>

[その他] <資料 5>

DAAS-Webサイト連載企画の進捗報告

アプリ制作

写真提供者毎の写真アクセス数表示機能について

次回運営委員会について

□資 料

資料 1 - 「迎賓館の天井補修のデータ（報告書）」をDAASで収蔵する件について

資料 2 - Webコンテンツ作成支援金によるコンテンツ制作（案）について

資料 3 - アーカイブサービス（案）について

資料 4 - 運営基盤の安定化について

資料 5 - その他お知らせ等

## 「迎賓館の天井補修のデータ（報告書）」を DAAS で収蔵する件について

3月に納品・掲載予定の表記資料については、7月中旬に営繕部より DAAS-Web サイトへの収蔵依頼の連絡がありました。既に文化庁にも同様のデータが掲載されており、PDFデータとして、ダウンロード出来るような形式で掲載がされています。

（文化庁サイト：[http://www8.cao.go.jp/geihinkan/akasaka/ag\\_syufukuhoukokusyo.html](http://www8.cao.go.jp/geihinkan/akasaka/ag_syufukuhoukokusyo.html)）

今回の天井補正データの DAAS-Web サイトへの掲載方法としては、写真等の一覧表示、画像表示、もしくは、特集ページでの報告書の掲載等、現行の機能に掲載をする利用です。意見等あれば今後の Web サイトの機能追加も検討します。

また、今後も営繕部からの継続的な資料提供を見込み、官庁及び一般へのアーカイブサービスとして委託費用を提示することもあわせて進めていきたいと考えます。（資料 4 アーカイブサービスについて）

※本件は資料 4 「アーカイブサービスについて」にも関連する報告である。今後の収入事業・新規事業展開としてアーカイブサービスの実現、概要等を委員会にて検討・承認頂きたいと考えています。

## Webコンテンツ作成支援金によるコンテンツ制作（案）について

国土交通省の「平成 25 年度住宅・建築物の先導的計画技術の開発及び技術基盤の強化に関する事業」の補助事業者より「優れた住宅・建築物の Web コンテンツの作成」に関しての費用支援頂くこととなりました。この費用執行に関して、これまで制作してきた DAAS のオリジナルコンテンツを制作することに重点を置き、以下コンテンツ制作案を提示します。

### 1) DAAS インタビュー

- これまでに DAAS 独自のコンテンツとして制作してきた建築家・研究者のオーラルアーカイブ・インタビュービデオを制作したいと考えます。
- 制作においては、関東学院大学 理工学部映像クリエーション学科・建築学科の協力を要請中。これによりこれまで費用 100 万で 1 本の成果物というところ、同金額で 3 本～最大 5 本の収録を予定可能との回答を頂きました。（撮影者により関東以遠の収録による旅費等費用追加が予想される為、制作本数に幅をもたせています）撮影環境、機器類等についても万全のものということです。
- 関東学院大学の協力要請の目的は、費用を抑えることだけでなく大学生の社会経験、編集作業・事前の撮影対象者についての研究レポート等々教育の場の提供であり、今後コンテンツ制作における継続した連携を視野にいれています。大学側より産官学連携としての部署への協力も呼びかけているとの回答を頂きました。
- 尚、撮影対象者については、これまでに収録が出来ていない写真家 村井修氏 建築家 藤本昌也氏、等委員の意見を頂きたいと考えています。
- また撮影に関し委員の協力を得られるようであれば、御願いたいと考えています。

### 2) VR(バーチャルリアリティ)を使った空間画像データの制作

- 東京芸術大学 君塚氏の協力により今後残したい建物、もしくは街並みの VR データ制作を実施いたします。50 万の費用で 2～3 本の制作を検討し、撮影対象者となる建物や空間について委員の意見を頂きたいと考えています。
- また特定の建物等、撮影に関し委員の協力を得られるようであれば、御願いたいと考えています。

### 3) その他 資料のデジタルデータ化及び Web 掲載

- デジタルデータ化が必要な資料について委員の意見等を頂きたいと考えます。また、金沢工業大学等でのデジタル化が必要なデータを確認し、今回の費用にて実施したいと考えます。

### 4) Web サイトの機能改善

- 今回収録するデータの掲載に必要な Web 機能の改善を行いたいと思います。

実施のための費用割当として 1) 4) を各 100 万、2) 3) に関する費用を 50 万 計 300 万を執行予定としています。

## アーカイブサービス(案)について

国土交通省大臣官房官庁営繕課の報告書収蔵(資料1参照)を機に、DAAS で行うアーカイブサービスの具体的な費用の提示が必要となっています。このサービスが実現すれば、営繕部からの継続的な資料収蔵も見込まれ、同時に、外部へ向けたサービス=収入事業として新たなアーカイブの可能性も見えてくるものと思われれます。また収蔵コンテンツの価値、DAAS の存在価値向上や DAAS 会員継続の理解にもつながることを期待しています。

費用、サービス等に関しての委員の御意見を伺いたいと思います。

### 1) アーカイブサービスの種類(案)

- (a) Web 掲載 (メタデータの付与等を含む)
- (b) 資料 (写真・図面等紙媒体) のデジタルデータ化・RAW データ作成及び Web 掲載
- (c) 恒久的データ保全 (サーバ保管)
- (d) 掲載資料のアクセス数管理
- (e) デジタルデータ有償利用申し込み受付
  - ① 連絡取り次ぎのみ
  - ② データ送付、費用收受、等を含む受付
- (f) その他
  - ① 資料提供者向けサービスの検討
  - ② アンケート機能の実装等

### 2) 費用(案)について

◇本サービスの案内のみ Web サイトに掲載し費用については、都度見積依頼をしてもらうことを明記する。(費用詳細は未掲載、もしくは例として掲載)

◇料金は、当初作業費用の基本料金+(1点辺りの作業費×資料枚数)の構成で提示したいと考えている。

サービス内容	基本料金	資料1点辺	備考
(a) Web 掲載	10,000	110	掲載期間1年(更新制とするか)
(b) デジタル化	65,000	5,300	
(c) 恒久的データ保全	10,000	11,000	※その他恒久保管費用(例として100年)の算出が必要(主に人件費)
(d) アクセス管理	30,000		1年間の月次レポート作成
(e) 有償利用 ②のみ	20,000		現状1年に1回程度利用
(f) その他	応相談		

### 3) 費用根拠と、検討事項について

- (ア) それぞれのサービスに対し、管理に係る **DAAS** の事務方人件費、外注費を実績より計算し、サーバ維持/管理費/外部保管費等の外注費用を現在の 10,000 点収蔵分の一枚当たりの料金を計算。
- (イ) 検討項目として恒久的データ保全（サーバ保管費）→サーバ保管後の維持管理費の考え方（数年間分を見越して発注費に計上し、以後徴収しない、もしくは、維持管理費を別契約にし、年間更新制にするか等）の検討
  - ① 掲載資料のアクセス数管理→新規機能追加ページから各提供者向けの特別ページを作成する場合、別途制作費が必要となる。また、日次レポートを希望する場合には別途費用計算の必要がある。
  - ② **WEB** 改修等、資料提供者向けのサービス →要求者の希望・改修の度合いによる為費用検討は難しい。現状 1 年に 1 度程度の利用として考えている

### 4) DAAS アーカイブサービス対応について

#### (ア) 開始について

- ① まずは営繕部の資料収蔵に向けた費用提示のため、サービスの概要（図）等を掲載（2013 年 8 月掲載を目処とする）。掲載後サービスの概要・詳細共に改善をする方向ですすめる。
- ② 今後の展開→営繕部の資料収蔵後、団体・協会・個人建築家等のニーズのリサーチ等を行いたい
- ③ 具体的対応（対 営繕部について）→現在はデジタルデータ化された資料が殆どであるが、それ以前の紙媒体の資料の有無等も確認し **DAAS** の委託業務として提案を行う。

## 運営基盤の安定化について

前回の第23回運営委員会(2013年4月26日開催)において意見交換いただいた結果をもとに、DAASが直面する喫緊の課題「運営基盤の安定化」に関する今度の行動方針等について事務局の考えを改めて以下のように提示いたします。

前回運営委員会議事要旨も参照し、各会員企業・団体における検討結果も踏まえ、前回に引き続き自由討議をお願いしたいと思います

### ① 他の運営母体を模索し、DAAS運営を統合【最優先課題】

- ・DAAS-WEBサイトの安定的維持・運営と、活動基盤の安定化が無ければ先に進めない。(以下、②③を進めるにしても、腰をしっかり据えた活動基盤が必須と考える)
- ・統合先相手とDAASの双方にメリットがあり、Win-Winの関係を構築できる事が望ましい。
  - 例えば、DAASを維持・運営し、デジタルアーカイブのハブとして統合先機関が存在できることの社会的メリットが説明可能なよう、知恵を絞る必要がある(統合相手先毎にDAAS統合のメリットを打ち出す必要)
- ・統合メリットを説明可能な資料として作成し、統合の可能性のある各機関と具体的調整に入る
  - 国土交通省、文化庁については、省庁間の協議を依頼
  - ※「基盤安定化策としてのDAAS運営統合リスト」を例として作成(プロジェクター投影)
- ・運営委員会へ参加する各委員において、本テーマに関して協力いただける作業・内容を提示いただきたい(事務局内での検討、作業での限界)
- ・必要に応じ作業WGを構成し、本テーマに関する集中討議が必要と認識

### ② 広告費として会費拠出が可能となるよう最大限の努力(現状DAAS収蔵コンテンツの拡充)

- ・会費単価を低減しつつ、会員より企業広告費として会費を出しやすくする環境作り
- ・現状DAASに収蔵するコンテンツの拡充と、アクセスカウンター機能の実装が必要との意見
- ・運営委員会へ参加する各委員において、本テーマに関して協力いただける作業・内容を提示いただきたい
  - 例えば、各団体受賞作品について、過去そして今後のもの全てDAASへ収蔵するならば、各団体よりDAAS-WEB掲載の許諾手続き等の協業を依頼するなど

### ③ 会員メリットの明確な創出の検討は継続

- ・会員メリットへつながる新サービスや、有償サービス等の検討は継続
- ・運営基盤安定化のもとに、新サービス提供の方針か？

[その他]お知らせ等

1. 松村秀一氏 連載企画 <http://www.daas.jp/matsumura>

第1回 セキスイハイム M1 と大野勝彦

第2回 積水ハウス A 型と黎明期のプレハブ住宅

第3回 KEP 実験住棟に埋め込まれた3つの歴史的集合住宅

第4回 50年前の公団住宅が空き家になり、そしてこうなった

-多摩平団地とたまむすび テラス-<2013年7月20日>

The screenshot shows a website page with a navigation bar at the top containing links like '建築資料を探す' and 'DAASコミュニティ'. The main content area features a large title 'DAAS連載企画 松村秀一 夢の跡 革命児たちの住宅生産' and a sub-title '第4回 | 50年前の公団住宅が空き家になり、そしてこうなった -多摩平団地とたまむすびテラス-'. Below the title is a text block starting with '今回はその多摩平団地で最近起こっている興味深い動きについてである。' and '2009年、UR都市機構は、昭和30年代に建設された公団住宅を取壊すことなく再生させる効果的な方法を見出すため、ルネッサンス計画2「住棟ルネッサンス事業」を開始した。' The page also includes a sidebar with 'お知らせ' and '読み物アーカイブ' sections.

2. アプリ制作 (イメージ画像のプロジェクター投影)

3. 写真提供者毎の写真表示機能実装について (イメージ画像のプロジェクター投影)

4. 次回運営委員会について

9月開催予定 (総会資料の承認について)